

**石川県野球協会会長旗争奪 第22回 中学校野球選手権大会**  
**「第13回 全日本少年春季軟式野球大会日本生命トーナメント 石川県予選会」**  
**大会実施要項**

- 1 主催 石川県野球協会
- 2 主管 石川県中学校体育連盟軟式野球競技部 金沢市中学校体育連盟軟式野球競技部
- 3 後援 北國新聞社、トップインターナショナル(株)
- 4 特別協賛 日本生命相互会社
- 5 会場 石川県立野球場（県立）、金沢市安原スポーツ広場野球場（安原）  
かほく市高松野球場（高松）、宝達志水野球場（宝達）
- 6 会期 令和3年10月9日（土）・10（日）・16日（土）  
※雨天予備日 10月17日（日）（県立）
- |           |    |      |       |                  |       |
|-----------|----|------|-------|------------------|-------|
| 10月9日（土）  | 県立 | 1回戦  | 10:00 | 12:00            | 14:00 |
|           | 安原 | 1回戦  | 10:00 | 12:00            |       |
|           | 高松 | 1回戦  | 10:00 | 12:00            |       |
|           | 宝達 | 1回戦  | 10:00 | 12:00            |       |
| 10月10日（日） | 県立 | 準々決勝 | 10:00 | 12:00            |       |
|           | 高松 | 準々決勝 | 10:00 | 12:00            |       |
| 10月16日（土） | 県立 | 準決勝  | 10:00 | 12:00            |       |
|           |    | 決勝   | 14:30 | ※準決勝終了後40分を目安に開始 |       |
- 7 出場チーム 次の17チームとする
- ①：珠洲市、輪島市、鳳珠郡 3チーム
  - ②：七尾市、鹿島郡 1チーム
  - ③：羽咋郡市 1チーム
  - ④：河北郡市 1チーム
  - ⑤：金沢市 4チーム
  - ⑥：野々市市、白山市 2チーム
  - ⑦：能美郡市 1チーム
  - ⑧：小松市 2チーム
  - ⑨：加賀市 1チーム
  - ⑩：協会推薦（星稜中学校） 1チーム
- 8 参加申込 出場資格を得たチームは、所定の参加申込書とチーム写真の各データを下記まで  
9月28日（火）までに送信すること。  
送信先 津幡南中 高田宛：knzw\_jhbb\_mnt21@yahoo.co.jp
- 9 参加料 1チーム 20,000円 監督会議に持参してください
- 10 旅費・宿泊費 本大会における旅費・宿泊費は、すべて参加チームの負担とする。

- 1 1 出場資格 平成19年4月2日から平成21年4月1日までに生まれた中学生。
- 1 2 適用規則 2021年度公認野球規則及び2021年度競技者必携に定める規則を適用する。  
※ 2021競技者必携「審判員・選手への注意事項」のP38～P64を  
および公益財団法人全日本案式野球連盟規程細則を適用する。
- 1 3 競技方法 (1) トーナメント方式とし、試合は7回戦。  
(2) 得点差によるコールドゲームは、5回以降7点差とする。  
(3) 7回を完了し同点の場合、延長戦を行わず直ちにタイブレーク制とする。
- 1 4 表彰 1位～3位のチームを表彰する。  
優勝チームに第13回全日本少年春季軟式野球大会日本生命トーナメントの  
出場権を与える。
- 1 5 使用球 石川県野球協会公認球トップボールM号ボールを使用する。
- 1 6 球場の到着、健康チェックシートの提出、打順表、ベンチ入りについて  
(1) 第1試合のチームは、遅くとも試合開始予定時刻の1時間前に球場に到着すること  
(90分前には開門されている)  
健康チェックシートの提出と引き替えに打順表を与える。また、健康チェックシートの  
打順表の提出と攻守の決定については、ベンチ入り後、通知する。  
(2) 第2試合以降のチームは、球場に到着次第、健康チェックシートを提出し、打順表を  
受け取ること。試合開始時刻の1時間前までに到着することが望ましい。  
ベンチ入りは、前のチームが退場し競技役員の本チ消毒が終了した後、許可する。  
(3) 試合開始予定時刻になっても会場に来ないチームは、原則として棄権とみなす。
- 1 7 その他  
(1) シートノックは行わない。  
(2) 監督等指導者は、必携P46以降の§3「試合中の禁止事項、§4「試合のスピード化に  
関する事項」、「競技者のマナーに関する事項」ならびに「用具・装具に関する事項」を  
確認し、選手に周知徹底すること。  
なお、用具、装具の細部の規定については、県中体連の県体規約に準ずる。  
(3) 参加者は、全員傷害保険に加入しておくこと。  
(4) 観客席の入場は、2名の学校教職員に引率されたベンチ入り以外の選手およびベンチ入り  
選手の保護者に限り許可する。  
入場者名簿に氏名と当日の体温を記入し提出すること。  
(5) 投手の投球制限については、肘・肩の障害防止を考慮し、下記の通りとする。  
大会中の1日の投球数…100球 ※「1週間の投球数350球」は適用しない。  
※試合中に100球に到達した場合は、その打者が打撃を完了するまで投球できる。